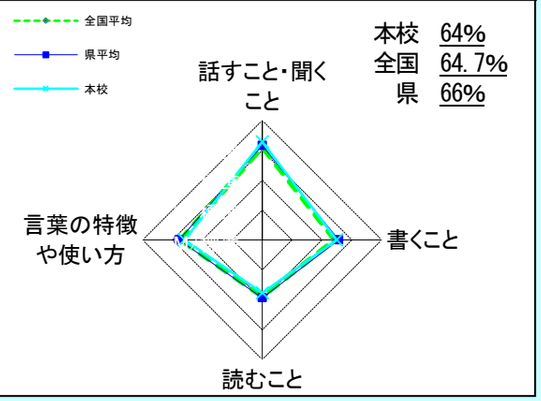
別紙２

令和３年度

指導方法等の改善計画について　〔国語科〕

呉市立郷原小学校

全国学力・学習状況調査　本年度正答率



本校　64%
全国　64.7%
県　66%

重点課題

【課題１】・　「目的に応じ，文章と図表を結びつけて必要な情報を見つける問題」＜設問２（３）：無解答率 4.9%・正答率 26.2%＞において，複数の条件が与えられていたが，どちらかの条件のみをまとめて文章にしている児童が多かった。特に，文章から必要な情報を取り上げることはできるが，図の情報を読み取って書くことができていない（41.0%）傾向があり，問題文を隅々まで読んで活用できていない。

【課題２】・　「文の中における修飾と被修飾との関係を捉える問題」＜設問３三（２）オ：正答率 37.7%＞において，修飾する言葉を文章のすぐ前後から選択して間違える傾向があった。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

【課題１】・　文章を一読してすぐに問題を解くのではなく，どの情報がどこに在るのかを分析する力が必要である。αドリル（長文読解の問題集）を全学年で使用し，積み上げを行う。練習問題の分析を行い，正答率が低い問題について複数回繰り返すなどして取り組む。

・　条件付きの文章を書く経験を増やす。（日記・振り返りなど）

【課題２】・　授業の中では短い単元になるので，タブレットドリルやプリントなどを活用して帯タイムや宿題で何度も繰り返し復習を行う。

※　小中一貫した取組については，読書活動等を通して，物事を多角的に捉えると共に，語彙力を高め自分の考えを根拠に基づいて的確に表現できる力を育てる。

【課題１】	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法			全学年 学年末テスト	全学年 令和２年度標準学力調査	全学年 令和３年度標準学力調査		５年生 令和３年度全国学力テスト
目標値			７５％	７０％	７０％		全国平均を上回る
実施後数値			８６．１％	６８．９％	７３．８％		６８．９％

【課題２】	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法			全学年 学年末テスト	全学年 令和２年度標準学力調査	全学年 令和３年度標準学力調査		５年生 令和３年度全国学力テスト
目標値			７５％	７０％	７０％		全国平均を上回る
実施後数値			８６．１％	６８．９％	７３．８％		６８．９％

来年度に向けて

今年度は,全学年統一してαドリルや文章を書くことに取り組み，思考力の面で成果が見られた。

基礎力で定着ができていないところを明確にして，反復練習させると共に，自分の意見に対する理由をはっきりと述べる練習に繰り返し取り組んでいく。

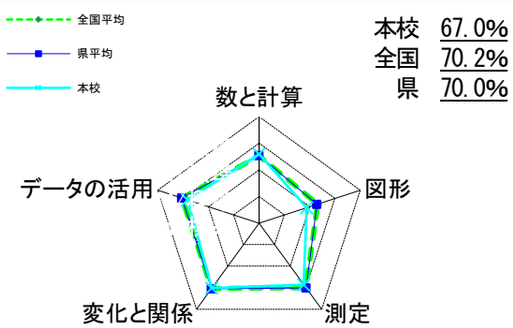
別紙２

令和３年度

指導方法等の改善計画について　〔算数科〕

呉市立郷原小学校

全国学力・学習状況調査　本年度正答率



本校　67.0%
全国　70.2%
県　70.0%

重点課題

【課題１】・　三角形の面積の求め方を基に，底辺や高さを決めて直角三角形の面積を求めることができる。<設問２（１）>量と測定（平均正答率35.4%）３つの辺をすべてかけて，答えを求めている児童が 33.3%，解答類型外を書いている，または無回答の児童が 25.7%であった。

【課題２】・　商が１より小さくなる等分除（整数）÷（整数）の場面で，場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し，計算をすることができる。（設問４（２））数と計算（平均正答率 49.2%）正しく立式できていない児童が 36.4%，解答類型外を書いている，または無回答の児童が 22.7%であった。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

【課題１】・　課題解決時に，図や式のみだけではなく，言葉や数などのキーワードを用いて記述をする。
・　底辺や高さなどの言葉の意味を整理し，それらの言葉や文を結び付けながら説明させる場を設定する。
・　タブレットドリルを活用し，全学年までの復習問題に定期的に取り組む。

【課題２】・　用いた数や式の意味，答えの根拠を明確にしながら，図をかいたり説明したりする活動を仕組む。
・　正答だけではなく，誤答について検討する場面を設定し，根拠を明確にして話し合う活動を通して，理解を深める。

※　小中一貫した取組については，問題を図，表，ことばの式などを活用して理解したり，説明したりすることができるようにする。

【課題１】	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法			全学年 学年末テスト	全学年 令和２年度標準学力調査	全学年 令和３年度標準学力調査		５年生 令和３年度全国学力テスト
目標値			７５%	７０%	７０%		全国平均を上回る
実施後数値			７９．１%	６３．９%	７３．６%		６２．１%

【課題２】	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法			全学年 学年末テスト	全学年 令和２年度標準学力調査	全学年 令和３年度標準学力調査		５年生 令和３年度全国学力テスト
目標値			７５%	７０%	７０%		全国平均を上回る
実施後数値			７９．１%	６３．９%	７３．６%		６２．１%

来年度に向けて

高学年において，図形領域に課題が見られる。図形のかきかたや特徴など定着していない。低学年から系統的に指導していく必要がある。文章から図をかいて立式する活動も，継続して仕組んでいく。

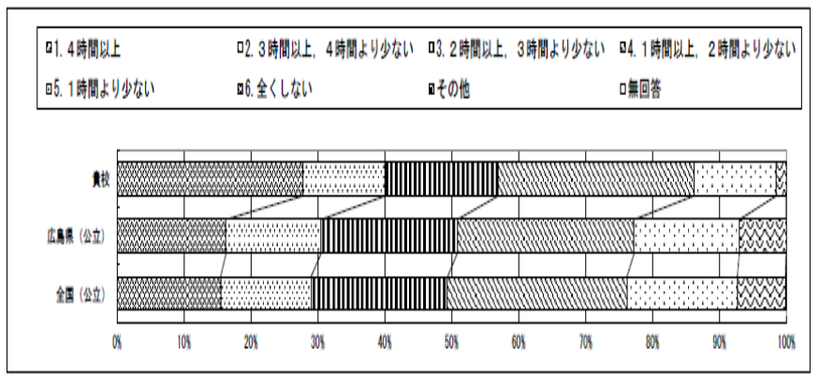
別紙２

令和３年度

質問紙調査　（全国学力・学習状況調査：児童質問紙調査）（児童生徒学習意識等調査：児童質問紙調査）

（１）生活・学習

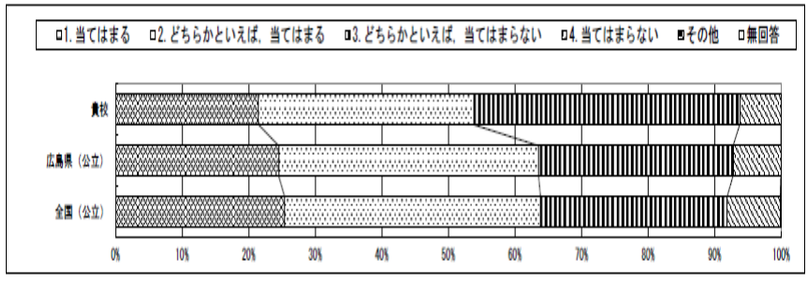
普段，どれくらいの時間テレビゲームをしますか。



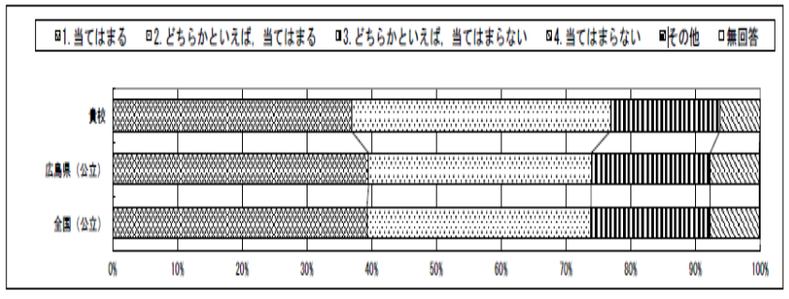
	児童の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
全国・学習意識等	・　普段（月曜日から金曜日），１日当たりどれくらいの時間，テレビゲーム（コンピューターゲーム，携帯式のゲーム，携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）をしますか。（２時間以上 56.9%）	・　毎学期の生活リズムチャレンジ週間を活用し，日々の目標を設定させ，評価する。 ・　学年で独自の生活リズムチェック表を作成し，保護者と連携する。	6	２時間以上の児童45%	児童アンケート調査	１月	30.1%

（２）教科

国語の授業では，目的に応じて，自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしています。



算数の授業で学習したことを，普段の生活の中で活用できないか考える。



		児童の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
国語	全国・学習意識等	・　国語科の授業では，目的に応じて，自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか。（53.8%）	・　タブレットで考えをまとめて，自分の考えを発表する場面を増やし，評価して自己肯定感を高める。 ・　思考の流れが分かる板書や，思考ツールを使って考えを整理させる。 ・　国語科の授業だけでなく，教育活動全体を通して自分の考えを話す機会を設定する。	6	65%	児童アンケート調査	１月	73.5%
算数	全国・学習意識等	算数科の授業で学習したことを，普段の生活の中で活用できないか考えます。（７６．９%）	・　児童の身近な課題から学習問題を設定する。 ・　自主学習を活用し，生活の中での活用方法を調べる学習を行う。 ・　学校生活での生活の中で，算数を活用している感覚を共有する。	6	80%	児童アンケート調査	１月	83.0%